

WA からのお知らせ



わ に入会しませんか

3年生の皆さん、 わ に入ってボランティア活動をしませんか。1月10日の説明会に続き、ふれあいホールで入会勧誘をおこなっています。勧誘期間は1月10～18日、2月21日～29日。年会費は1人1500円（保険500円・地区会とサークルへの助成が各400円・広報誌送料200円）です。今年も東北支援活動を継続するほか、各サークルと協力して各種のイベント、学習支援活動などを幅広く展開します。卒業後の人生を実り豊かにするために、 わ の仲間に加わってください。問い合わせは わ 事務局（743-8101）へ。

学園祭実行委から寄付

学園祭実行委員会から「グループ わ の活動に役立ててほしい」と11月29日、3万円の寄付がありました。10月に開催された第17回学園祭のバザー収益の一部で、寄付は毎年続けられています。池田八郎委員長には西田理事長から「大切に遣わせていただきます」と謝意が伝えられました。

スキルアップ講座 「東南海・南海地震に備えて」というテーマで1月18日、カレッジ学習室で。講師は神戸市危機管理室主幹・小林伸一氏。将来予想される大地震・大津波から自分を守るには、どういった備えが必要か、といった内容です。

サポート募金のお願い 東北被災地への支援活動を続けるための募金にご協力ください。1口千円。個人でも、区会、サークル単位でもかまいません。わ本部へご持参いただくか、郵便振替で送金してください。ご賛同者の氏名などは「ぎゃらりー わ」に順次掲載します。

わ のHP担当者募集 グループ わ のホームページ（<http://www.wa-net.jp>）を楽しく見ていただくために、リニューアルを検討中です。HPに関心があり映像編集に興味のある方、お手伝いくださいませんか。情報誌も誌名を第54号（2011年7月号）から『ぎゃらりー わ』に変更し、読者の皆さまから好評を得ています。希望される方は、氏名 コース・期 住所 電話番号 メールアドレスを明示して、わ本部事務局へ電話か（743-8101、ファックス743-3830）、メール（group_wa@wa-net.jp）でお申し込み下さい。

「ぎゃらりー わ」58号は4月中旬発行です。

わ のメールアドレス=わ本部 group_wa@wa-net.jp

つばやき

オールKSCの活力

あけましておめでとうございます。昨年はあの忌まわしい3・11東日本大震災から始まった。大津波が押し寄せ、人々の生活の全てが失われた。 わ の東北支援プロジェクトが始動。7月と10月には支援チームが南三陸などを訪問した。12月には石巻の小学生を神戸に招いて交歓会をした。この子たちは、きっと復興に立ち上がってくれることだろう。

グループ わ には約1200人の会員があり、多彩な人材の源となっている。この人と人の繋がりに、広範な被災地支援も実現できたと思う。皆さんの義援・支援・声援に感謝します！

今、日本社会はどんどん高齢化が進み、団塊の世代が老年に突入する。年金・医療がどうなるのか皆が心配している。

グループ わ でも新たな会員と活動資金の確保に不断の努力を続けないと活力が失われる。震災支援ではオールKSC精神が存分に発揮された。この勢いで、もっと多くの方が卒業後もボランティア活動に参画してほしい 新年を迎えた新米理事の夢です。（財務担当・堺 汎）

編集後記



2011年の10大ニュース1位は、当然のことながら、東日本大震災でした。グループ わ も東北支援活動に明け暮れましたが、 わ の主な出来事を拾ってみると - - 。東北へ支援チーム派遣 東北関係の募金200万円突破 「花実の森」里山整備始まる 3団体に神戸市環境奨励賞 地域交流と文化の祭典(以下略)といったところでしょうか。

東北派遣チームの活動ぶりを広く皆さんに知らせ、被災地の状況に眼を向けてもらおうと、広報も奔走しました。本誌を動員したほか、ビデオ制作、ホームページへのレポート掲載、支援体験報告会などを実施しました。とりわけ、報告会は予想を超えるカレッジホールいっぱいの入場者があり、KSCの皆さんの関心の高さに驚き、感激した次第です。

明けて、2012年。閉塞感を打ち破って、マルマルモリモリと元気な日本になってほしいものですね。小誌も魅力ある企画・話題・情報・レポートを提供し、KSCの絆たらん、とがんばります。どうかご支援下さい。（広報担当・南形 徹）

情報ぎゃらりー wa_gallery@wa-net.jp